

【単元のポイント】

小数のわり算

5年生 算数 第5単元

学習指導要領（平成29年告示）の目標

【A 数と計算】 A(3) 小数の除法

除数が小数である場合の除法の意味について理解し、その計算の仕方を考えたり、それらを用いたりすること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 小数 ÷ 小数の筆算ができる
- わり進みやあまりのある計算ができる
- 商を概数で表すことができる

【思考・判断・表現】

- 整数の計算に帰着して考えられる
- 純小数でわると商が被除数より大きくなることを理解できる
- わり算の性質を使って計算の方法を説明できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 小数の計算を日常生活に活かそうとしている
- 計算の確かめを正確に行おうとしている

◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

1. 小数のわり算の仕組み

- $7.2 \div 0.6 \rightarrow 72 \div 6 = 12$ （わる数を整数にする）
- わる数とわられる数に同じ数をかけても商は変わらない
- 小数点の移動で整数に直して計算

2. わる数が 1 より小さい場合

- $6 \div 0.5 = 12$ （商が被除数より大きくなる）
- 「 $\div 0.1$ は 10 をかけることと同じ」という理解
- 1 より小さい数でわると増えるという感覚を育てる

3. あまりのあるわり算

- あまりの小数点は、もとのわられる数の小数点の位置に合わせる
- 検算：商 \times わる数 + あまり = わられる数

4. つまずきやすいポイント

- 小数点の移動を片方だけ行う
- あまりの小数点の位置を間違える
- わり進みの際に 0 を補うのを忘れる

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 筆算欄：計算スペースを十分に確保
2. 段階的：整数 \div 小数 \rightarrow 小数 \div 小数の順
3. 検算：かけ算で答えを確かめる習慣
4. あまり：あまりのある問題と整数になる問題を混ぜる
5. 1 より小さい：純小数でわる問題も扱う